



第15回 稲門建築会特別功労賞

重村 力 (苗S44)

神奈川大学工学部建築学科教授
神戸大学名誉教授

重村力氏は、早稲田大学大学院博士課程単位取得後、1978年から30年以上にわたって、神戸大学で研究・教育にあたられ、この間、吉阪隆正教授の薰陶を受けた建築家、地域計画家として、地域の伝統と生活に根差した建築作品の設計と地域計画、更に調査研究に取り組まれ、地域計画の伝統のある関西において強い個性のある実績をあげてこられたことは、今更、紹介するまでもない。その成果には、吉田五十八賞、都市計画学会石川賞、日本建築学会賞等が授与されたばかりでなく、重村氏を中心とする活動が神戸大学のCOE等の原動力となったことを含め、その評価は、単に専門領域の中の閉じた評価に留まらない社会的なものがある。重村氏が早稲田のキャンパスから遠く離れた地にあって、多大な学術と実践の成果をあげられたことは、稻門建築会の多数の会員を大いに力づけるものといえよう。その一方で、重村氏は、2000年以来、12年にわたって、稻門建築会近畿支部長を務められており、毎年、関西の由緒ある歴史的建築物を会場とする支部総会の開催など、関東以外では最大の集団である近畿支部の活性化に大いに尽力してきた。重村氏の研究者・建築家としての活力ある実績とあわせ、支部活動の規範となる成果として、稻門建築会特別功労賞に推薦申し上げる。

(推薦者 長谷見雄二)



1990 出石 ひばこホール



2007 神戸 玉津第一中学校



1995 五箇荘 観峯館



1996 倉敷 玉島北中学校



2006 養父 井上デイケアセンター



1990 出石 弘道小学校



1985 脇 脇町図書館



1993 城崎 内島団地